

お忙しくても、約 2 分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895
FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

これからの経営者は一種の宗教家であるべき 入山 章栄 (早稲田大学ビジネススクール教授)

1. 日本企業からイノベーションがなぜ起きないのか。イノベーションとはそもそも未知なものだ。しかし、日本企業の経営者はえてして、新規事業が成功する確かな根拠や、予測数字の「正確性」を求めがちだ。むしろ、これからの日本の経営者は、一種の宗教家であるべきだと思う。
2. なぜなら、企業がイノベーションを起こすために最も必要なのは、経営者が従業員をはじめとしたステークホルダー (利害関係者) の納得できる夢 (ビジョン) を語り、それを「腹落ち」させることだからだ。「正確性」より「納得性」が重要だ。これを経営学ではセンスメイキング理論といい、グローバル企業の方が進んでいる。この素地ができて初めて、イノベーションを起こすための「知の探索」を組織的に行える。
3. 近頃、日本の経営者から「最近の若者は夢がない」と嘆く声を聞くが、そうではない。経営者が若者に腹落ちする夢を見させることが必要だ。今後数十年、この組織がどのような形で社会に価値をもたらし、富を得ていくのか、その夢について従業員の腹落ちを得ることで、新たな価値を生み出す集団になることができる。

(参考: 「Wedge」 2019 年 5 月号)

心・健康・環境について

腕立て伏せを 40 回できればどうなるか

1. 米国医師会が発行する JAMA ネットワークに掲載された報告によれば、腕立て伏せを 40 回以上できる中年男性は、心血管疾患 (心筋梗塞や狭心症) のリスクがかなり低いという。10 年間の追跡調査中 (男性消防士 1104 人)、37 件の心血管疾患が発生。解析の結果、腕立て伏せ 10 回未満しかできない男性と比べ、40 回以上できる男性の発症リスクは、96%も低いことが判明した。
2. また、握力が血圧値に匹敵する「リスク発見器」であることが示された。握力が 5 kg 低下するごとに全死亡率が 1.16 倍、心血管死は 1.17 倍に上昇。心筋梗塞と脳卒中の発症率も、それぞれ有意に上昇していたのだ。それこそ「筋肉は命の守り手」というわけだ。

(参考: 「週刊ダイヤモンド」: 2019 年 3 月 30 日号)

海外事情

米中貿易摩擦は永遠に続く

ビル・エモット (英エコノミスト誌元編集長)

1. すべてのビジネス関係者は、米国と中国は、貿易、経済政策、また技術面において長期的、もしくは常態化した摩擦を抱えていることを常に念頭に置かなければならない。トランプ氏が米大統領に就任して以来、米国と中国における貿易摩擦には、彼の特色や個性が反映されるようになった。だが、次の大統領、もしくはその次の大統領になっても、両国の貿易摩擦は続き、その時々政治から、新しい特色や個性が加えられるだろう。
2. これは軍事専門家が「消耗戦」と呼ぶ状況だ。永遠に終わらないし、勝者はなく、時に状況はより激しくなったり沈静化したりしながら、何か根本的な変化が訪れるまで続く。日本のケースでは、バブル崩壊によって米国との関係が変わった。両国のファクターは何か。

(参考: 「日経ビジネス」 2019 年 1 月 7 日号)

古典に学ぶ

頭脳を冷静に 自己を忘れぬこと

(解説) およそ事物に対し「斯 (か) くせよ」「斯くするな」というがごとき、正邪曲直の明瞭なる者は、直ちに常識的判断を下し得るが、場合によってはそれもできかねることがある。さような場合に際会しても、頭脳を冷静にしてどこまでも自己を忘れぬように注意することが、意志の鍛錬の要務である。

(参考: 渋沢栄一「論語と算盤」: 国書刊行会)